

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名:教育委員会

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営鈴鹿スポーツガーデン(鈴鹿市御園町1669番地)、県営総合競技場(伊勢市宇治館町510番地)
指定管理者の名称等	財団法人三重県体育協会 理事長 田中敏夫(鈴鹿市御園町1669番地 県営鈴鹿スポーツガーデン内)
指定の期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 事業の実施に関する業務 ② 施設等の利用の許可等に関する業務 ③ 利用料金の收受等に関する業務 ④ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ スポーツガーデン及び総合競技場の管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		指定管理者として効率的な管理運営を図るため、県内競技団体と利用調整や大会開催に関して包括的に連携を行い、専門的技術・知識を習得するための人材育成や維持管理経費の節減、新規利用者確保に向けた広報活動の充実といった方策を実施してきた。また、生涯スポーツを推進するため多くの県民が気軽に参加できるスポーツ教室を多数開催するとともに、経営努力によって得られた収益により施設の修繕を実施するなど、多様なニーズに対応して誰もが気軽にスポーツに親しめる施設を提供してきたと評価できる。
H19	B		
H20	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		指定管理者として施設運営の自由度を活用し、利用者数及び利用料金収入の増加策としてサマーパスポート(水泳場)や定期券(水泳場及びガーデン・競技場体育館トレーニングルーム)を導入するとともに、利用者サービス及び利便性向上のため、休業日の開業について柔軟に対応したり、施設無料開放イベント(ガーデンフェスタ・競技場感謝フェスティバル)や営業時間の延長(陸上競技場)を実施するなど積極的な経営努力を行っている。ガーデンの利用者数については成果目標を達成できなかったものの、その他の項目は全て達成しており、全般的に利用しやすい施設として機能向上が図られたと評価できる。
H19	B		
H20	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	1,153,908,211	事業費	37,994,082
利用料金収入	280,264,550	管理費	1,429,506,352
その他の収入	65,055,544	その他の支出	23,024,131
合計 (a)	1,499,228,305	合計 (b)	1,490,524,565
収支差額 (a)-(b)	8,703,740		

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績			
			成果目標項目	目標値	実績値	達成率
H18	B		<ガーデン>施設利用者数	290,000	287,606	99.2%
			<ガーデン>年度各種大会数	250	361	144.4%
			<競技場>施設利用者数	210,000	224,582	106.9%
H19	B		<ガーデン>施設利用者数	370,000	302,349	81.7%
			<ガーデン>年度各種大会数	255	354	138.8%
			<競技場>施設利用者数	200,000	249,638	124.8%
H20	B		<ガーデン>施設利用者数	370,000	310,760	84.0%
			<ガーデン>年度各種大会数	250	352	140.8%
			<競技場>施設利用者数	210,000	250,318	119.2%
全期間におけるコメント						
<p>鈴鹿スポーツガーデンについては平成19年4月に発生した地震により損傷した水泳場天井の改修工事を実施したことで、プールの利用者数が減少したこともあり、利用者数が目標数値を達成できなかった。しかし、その他の項目は指定期間を通じて高い水準で目標数値を達成していることから、概ね成果目標については達成していると評価できる。今後は、平成21年度以降5年間の指定管理者として指定されたことを受けて、より一層目標達成に向けた利用促進への取組を充実する必要がある。</p>						

6 総括コメント

- 利用状況に対応した料金設定や柔軟な営業時間、地域・各種スポーツ団体との連携や広報活動の充実など管理運営において改善を図っている。また、良好な施設環境を維持し利便性向上を図るため、庭球場予約管理システムの改修やサッカーラグビー場第2グラウンド芝補修などを実施することで収益を積極的に利用者へ還元するとともに、自主事業としてスポーツ大会や施設無料開放イベントを開催して県民がスポーツに親しめて利用しやすい施設の提供に積極的に取り組んできたことと評価できる。
- 危機管理全般に対応するため、危機管理マニュアルを策定し、定期的に消防・避難訓練を実施している。また、AED取扱講習を受講したスタッフを配置し、施設利用中の事故に迅速に対応できる体制を整備している。平成19年4月に発生した三重県中部を震源とする地震において、プール内の利用者を迅速に避難させたことで負傷者をだすことなく、利用者の安全確保を最優先に的確な対応ができた。
- 指定管理者から提出される各月の利用状況報告、管理事務所への聞き取りや施設の現場確認等から、競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、利用者の安全対策や利便性の向上に対応した中長期修繕計画に基づく修繕などを適切に実施している。また、利用者アンケートの実施や各施設に設置した「ひと声箱」により利用者の意見・要望を収集し、可能な限り運営業務に反映させることで利用しやすい施設の提供に努めている。
- 効率的なスタッフの配置により人件費の抑制を図り、省エネルギー・リサイクルの徹底による維持管理費の節減などに努めている。また、利用者サービスの向上を図るため、従来の利用料金以外にサマーサポート(水泳場)及び定期券(水泳場及びガーデン・競技場トレーニングルーム)を導入するとともに、料金体系の見直しや営業時間の延長、多種多様なスポーツ教室の開催など利用者ニーズに対応した施設運営に取り組んでいる。こうした取組の結果、管理運営経費を縮減し利用料金収入を増加させることができた。
- 成果目標については、鈴鹿スポーツガーデンの利用者数が未達成であるものの、大会数や総合競技場の利用者数は目標数値を達成している。また、利用者サービスや施設運営の機能向上など指定管理者として積極的に改善に努めていることから概ね達成していると評価できる。今後は、新たに平成21年度から5年間の指定管理者として指定されたことを受けて、より一層の利用拡大を図るため、新たな事業計画に基づき利用時間の延長や休業日の削減、自主事業の充実に取り組む、目標達成に向けて努力していく必要がある。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。